



# 容リ協ニュース

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

The Japan Containers and Packaging Recycling Association



東大和市本庁舎に設置のPETボトル回収機

## CONTENTS

特集 2-5

令和4年度分の再商品化委託申込み開始

3Rの広場 ① 6-9

市長と職員がタッグを組み、  
新たなごみ行政に挑戦

東京都東大和市

3Rの広場 ② 10-13

ごみ処理施設を火災のリスクから守れ!  
容リ協の発火トラブル防止に向けた  
啓発活動について

トピックス・容リ協日誌 14-15

● 「プラスチック資源循環促進法」  
令和3年6月に公布される

● 新機能リサイクルボックス  
業界統一への取り組み

全国清涼飲料連合会

● 容リ協日誌／編集後記

地球を守り隊! 第14回 16

アーケードゲーム  
“ぐるぐるリサイクルん”で、  
楽しみながら、  
環境問題を知るきっかけに

株式会社  
イオンファンタジー

No. 88 2021年 11月発行

協会ホームページへは

リサイクル協会

検索



<https://www.jcptra.or.jp/>

本誌「容リ協ニュース」バックナンバーをご覧いただけます



もご利用ください

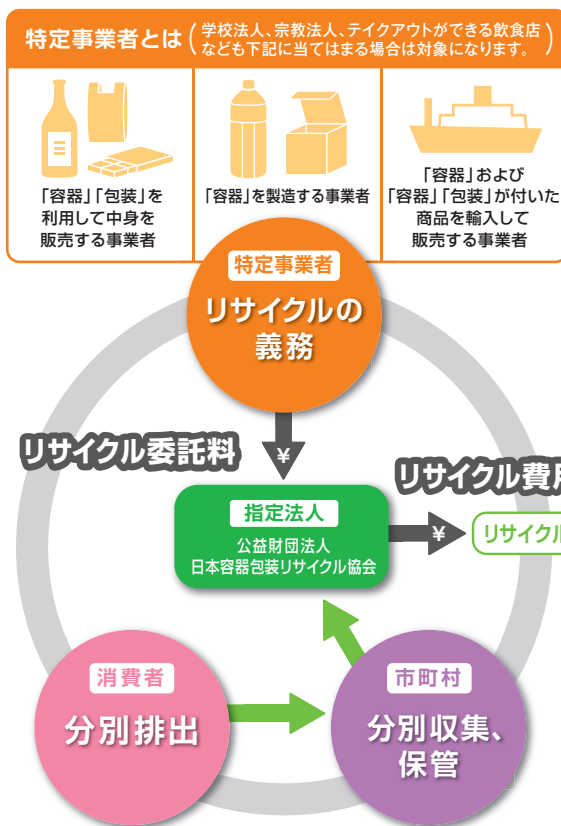


## 令和4年度分の再商品化委託申込期間は、 3年12月7日～4年2月10日です。

### 再商品化は、特定事業者の義務として法律に定められています

「容器包装リサイクル法(容リ法)」は、消費者、市町村、事業者すべての人々が連携しつつ、それぞれの役割を担い、持続可能な循環型社会の構築を目指すものです。なかでも特定事業者には、容器包装(ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装)のリサイクル(再商品化)が義務づけられています。

特定事業者の皆さまは、特定事業者の再商品化義務の履行を代行する機関として主務5省(環境省、経済産業省、財務省、厚生労働省、農林水産省)から指定を受けている当協会にリサイクルするための費用である委託料を支払うことで、リサイクルの義務を果たすことができます。



### 再商品化義務の有無について

容リ協ホームページに掲載のパンフレット(トップ▶パンフレット▶No.17[経済産業省パンフレット]容器包装リサイクルの義務 果たしていますか?)をご覧ください、6ページの「判定チャート」でご確認ください。



# 「容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」の開催はありません

例年、大都市を中心に開催しておりました「容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」(各地の商工会議所と共催)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止につき、本年度の開催はありません。

容リ協ホームページで、容リ制度や申込手続きについてご覧いただけます

容リ協 ホームページ

<https://www.jcpra.or.jp/>



## Q&A集



### 特定事業者向け Q&A

下の検索窓でQ(質問)とA(回答)の全テキストを対象にフリーワードで検索での「全て表示」ボタンをクリックすると表示中のQ(質問)に対応するA(回答)

#### 1. 特定事業者の定義

#### 【よくあるご質問と回答】 申込手続き編

質問Q	回答A
No.1 申込方法を教えてください。	オンライン申込と、郵送(オンラインの場合パス用紙(1と2)が各年度1法人につき1つ発行され未取得の場合、「再商品化」後、FAXをご送信ください。●トップページ>特定事送付依頼書 <a href="https://www.jcpra.or.jp/">https://www.jcpra.or.jp/</a>
No.2 毎年同じように手続きをしなくてもいいですか。自動更新にはできませんか。	再商品化委託契約は1年更新が必要です。(事業を

## 動画

### 容リ制度と事業者の役割



#### 基本編 容器包装リサイクル制度と事業者の役割

とある食品メーカーを舞台に、新人担当者と部長の掛け合いを通して、基礎から学べる内容です。

容器包装  
リサイクル制度とは?



#### 実務編 再商品化委託申込手続きマニュアル

「基本編」で登場した食品メーカーの新人担当者が、実際の再商品化委託申込みを行います。

申込から  
契約までの流れ



### 容リ制度、委託申込

に関するお問い合わせは…

コールセンター

**03-5251-4870**

### オンライン手続き

に関するお問い合わせは…

オペレーション  
センター

**03-5610-6261**

お問い合わせは、メールでも受け付けています

[contactinfo@jcpra.or.jp](mailto:contactinfo@jcpra.or.jp)

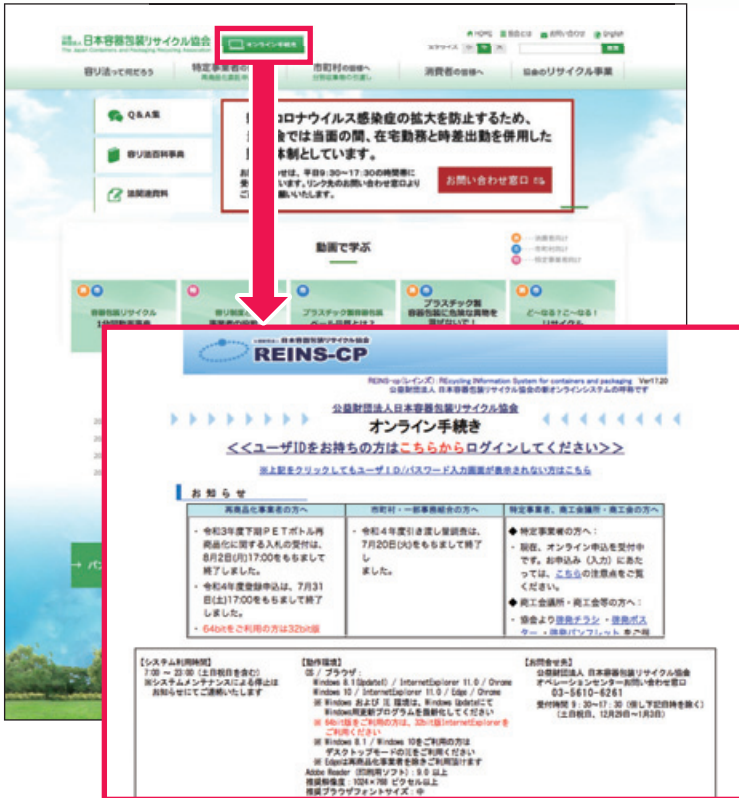


# お申込みは、 便利なインターネットで手続きを!

インターネット手続きでは、利便性の向上や業務効率化が図れます。  
資源の節約と経費削減にご理解・ご協力をお願いいたします。



容り協 ホームページ <https://www.jcpra.or.jp/>



## 令和4年度分のスケジュール



## 便利です!

### 自動で計算

画面に申込数量を入力すれば、自動計算されるので間違いが生じません。

### 前年度の情報を表示

入力画面に前年度の情報が表示され、見比べることができます。

### 時間を節約

土日・早朝・深夜でも希望の時間(7:00~23:00)に申込可能です。

### 書類の送付が不要

申込用紙を使わないので、投函などの郵送の手間とコストがかかりません。

## 安心です!

### 申込み前に社内確認がしやすい

入力画面を印刷できるので、内容確認や社内での稟議などに回せます。

### 1週間以内は修正可能

入力完了翌日から委託申込契約締結までの7日間なら、入力内容の修正ができます。

### 請求内容を事前に確認できる

請求書を受け取る前にオンラインで確認いただけます。

### 情報を厳重に管理

強固なセキュリティシステムで厳重に管理しています。

# 「ただ乗り事業者」をめぐる Q & A

Q1

「ただ乗り事業者」って、なんですか？

- A 容器包装の再商品化義務(リサイクル費用の支払い義務)を負っているのに、**委託申込みを行わない事業者**、申込み・契約をしながら**委託料金未払いの事業者**のことです。

Q2

容り協は、どのようなアプローチをしていますか？

- A 再商品化委託申込みは単年度契約ですので、容り法の対象事業をしている年度は申込み、対象事業をしていない年度は非申込み(申込みが不要な理由を示す)の手続きが必要です。

いずれの回答もない事業者には、**申込みを促す文書を年に3~4回**発送しています。郵送の代わりに電話で申込督促を行なうこともあります。

再商品化委託契約を締結したのにもかかわらず、**未払いの事業者には督促状**を発送します。未納金額が大口の事業者に対しては、法的措置を念頭に**顧問弁護士名での支払い催告**を行なうこともあります。

Q3

督促状による効果はいかがですか？

- A 多くの該当事業者から、**以下の通り申し込みがありました**。

■再商品化義務不履行分の過年度遡及支払い

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
420社	433社	513社	372社
約4億7千万円	約4億6千万円	約6億9千万円	約6億6千万円

Q4

時効はありますか？

- A 再商品化義務には、**時効はありません**。

Q5

同業他社が再商品化義務を果たしているのか、確認する方法はありますか？

- A 容り協ホームページで確認することができます。

「再商品化義務履行者リスト」には、委託料金完納事業者を掲載しています。



「委託料金別事業者リスト」では、事業者ごとの支払い金額が確認できます(公表に同意した事業者のみ)。



Q6

再商品化義務履行に向けて、ほかにどのようなことをしていますか？

- A ● 義務不履行事業者が多いと思われる**業界団体**を訪問して、容り法という法律があること、社会的責任を果たすための手続きが必要であることを説明し、また、会員企業への周知をお願いしています。
- 容り法の概要や手続きに関する質問には、**電話だけでなくメールでの問い合わせもご利用**いただけます。新規に申込みをする事業者はご不明点が多いと思われるので、**対面やオンラインでの対応**もお受けしています。
- **公益通報窓口(不適正行為等に関する通報受付)**を設けています。事業者からの内部告発を受け、事業者を管轄する主務省庁へ指導を依頼しています。
- 「ただ乗り事業者」への指導は**国の役割**となっています。**要請に基づき国へ再商品化義務不履行の事業者名や業界団体情報の提供**を行なっています。

## 主務省の「ただ乗り事業者」対策

「ただ乗り事業者」に対しては、国から勧告、公表、命令を行なっても義務を履行しない場合、罰則として「**100万円以下の罰金**」を科すとしています(法第46条、平成18年12月施行)。

残念ながらこれまで複数の事業者に対して勧告、公表などの法的措置がとられており、**環境省、経済産業省、農林水産省からの勧告に従わなかった事業者の社名**などが、各省のホームページやプレスリリースで公表されました。

RECYCLING REPORT

# 市長と職員がタッグを組み、 新たなごみ行政に挑戦



東大和市 尾崎 保夫 市長

東京都の中央部北側に位置する東大和市が、企業連携によるリサイクル事業の聖地となりつつあるのをご存じでしょうか。仕掛けたのは、市長の尾崎保夫さんはじめ環境部ごみ対策課の皆さん。東大和市が挑戦する新たなごみ行政のカタチをご紹介します。



## 情熱から生まれた 事業者との協働のカタチ

北部に緑豊かな狭山丘陵、東京都民の水瓶である多摩湖を擁する東大和市は、人口約8万5千人が生活する住宅都市です。市長の尾崎保夫氏は、東京都小平市役所での勤務経験のある方で、在職時にはごみ処理関連の業務も経験。ごみ行政に関する高い見識から、市長就任直後の2014年に東大和市での家庭ごみの有料化を実現しています。当時、東京26市のうちで21市がすでに有料化を決めていた中であって、東大和市はなかなか踏み切れないでいたところを、尾崎市長が強いリーダーシップを発揮し、実現にこぎつけました。

「市税は、平成4、5年をピークにその後は少子高齢化の影響もあって減少傾向になっていることは否めません。持続可能な行政を運営する上で、廃棄物処理へ割り当てられる税金の額も限られ

てくるわけで、今後もしリサイクルを円滑に実施し続けていくにはどうすべきか、考える必要が生じていました」(尾崎市長)

そこで、東大和市のこれから進むべき方向性として示されたのが、事業者との協働によるリサイクル事業の推進でした。「資源物の回収は、行政による回収から自動車や家電のように事業者自らが回収を行なう方向へ。さらに資源物は事業者においてリサイクル技術を開発し水平リサイクルすることで事業者が収益を確保できるような循環型社会になることが必要です」と話す尾崎市長。

事業者と手を携えた協働活動を積極的に取り入れているとともに、尾崎市長が重視していることがあります。「市民から集まった資源によるリサイクル循環の結果を、見える形で市民に説明することが行政の大切な役割です」(尾崎市長)

尾崎市長の情熱はとどまるところをしりません。



広報誌  
「東やまと市報」

広報誌  
「ごろすけだより」

## 市長が示した方向性を 市職員が自ら動いて具現化

「自ら動かなければ何も始まらない」(尾崎市長)

その言葉通り、東大和市が手がけたプロジェクトの第一歩である株式会社セブン-イレブン・ジャパン(以下、セブン-イレブン)とのPETボトルの回収事業は、東大和市の職員がアクションを起こすことにより始まりました。その中心人物が、環境部ごみ対策課の中山仁課長です。

「市長が描いたごみ行政の方向性をカタチにするのが私の役割。そのため、普段から環境分野の情報収集に努めています。ご家庭から出されるPETボトルは市が回収し、容リ協を通じて確実にリサイクルされていますが、市長からの課題である水平リサイクルを着実に上げるためには、小売店などから出される事業系のPETボトルについても取り組みができないものかと考えていました。そのようなところに、セブン-イレブンが東京都内と埼玉県内の300店舗で、使用済みPETボトルの回収・再生の実証事業を行なった情報をインターネットからキャッチし、2018年2月にPETボトル回収機メーカーであるトムラ・ジャパン株式会社の協力を得てセブン-イレブン



環境部ごみ対策課 中山 仁 課長

担当者とのアポイントメントを取りました」(中山課長)

セブン-イレブンが当初行なった実証事業により、店舗で回収したPETボトルの収集・運搬にかかる経費負担が、本格的に事業を推進する上で問題点の一つであることが明らかになっていました。東大和市とセブン-イレブンは安定的な事業運営を進めていく

### 役割分担 それぞれが今できる事をしよう!

#### (株)セブン-イレブン・ジャパン

- 回収機の設置・運用
- 回収資源の適正利用

#### 日本財団

- 回収機の設置支援 ※費用の半分を拠出

#### 東大和市清掃事業協同組合

- 社会貢献活動による収集・運搬

#### 東大和市

- 事業の周知
- 適正排出の広報



#### 市民

- PETボトルの分別
- PETボトルの適正排出

### セブン-イレブンとのPETボトルの回収・再生事業



※一般家庭から排出される使用済みPETボトルは、東大和市が回収し、容リ協を通じリサイクルされています。

PETボトル自動回収機  
(セブン-イレブン)



ための方策を協議。ここで東大和市の自治体としての本気度が発揮されます。

まず、店舗で回収したPETボトルの収集・運搬は、東大和市内の家庭廃棄物収集運搬事業者である東大和市清掃事業協同組合が協働実施することとなりました。

「以前から、収集・運搬を専門とする東大和市清掃事業協同組合の代表理事より、組合として何らかの社会貢献をしていきたいとの話をお聞きしていました。そこで、本プロジェクトがこれからの資源物リサイクルにおいて必要な取り組みであることをお伝えしたところ、社会貢献としてPETボトルの収集・運搬に協力いただけることになり、プロジェクト実現へ大きく踏み出します」(中山課長)

PETボトル回収機の費用負担については、「セブン-イレブンさんから公益財団法人日本財団さんへ本プロジェクトへの参加を打診いただきました。その結果、日本財団さんから海洋ごみ問題の解消へ向けた取り組みの一環として協力が得られ、産官民での日本初の協働事業を始めることとなります」(中山課長)

そして2019年5月、東大和市とセブン-イレブンは回収事業に関する協定を締結。その仕組みは、市内のセブン-イレブン全店舗に設置された回収機に、市民が使用済みPETボトルを持ち込んで投入することにより、電子マネー「nanaco」のポイントがたまるというものです。店舗で回収されたPETボトルは、再びPETボトルへと生まれ変わります。

「私たち行政の役割は、市民の皆さまにどうすれば利用してもらえるかを考えること。

そのため、全戸に配布する廃棄物広報紙で大々的に特集を組んでリサイクルへの参加を呼びかけるなど、広報活動を積極的に展開しました。事業開始から2年以上が経った今では、セブン-イレブンの回収機にPETボトルを投入する市民の姿を私自身も見かけるようになりました。その様子は東大和市における日常の風景になっています」(中山課長)

## 産官協働を成功させるポイントは みんなで分担すること

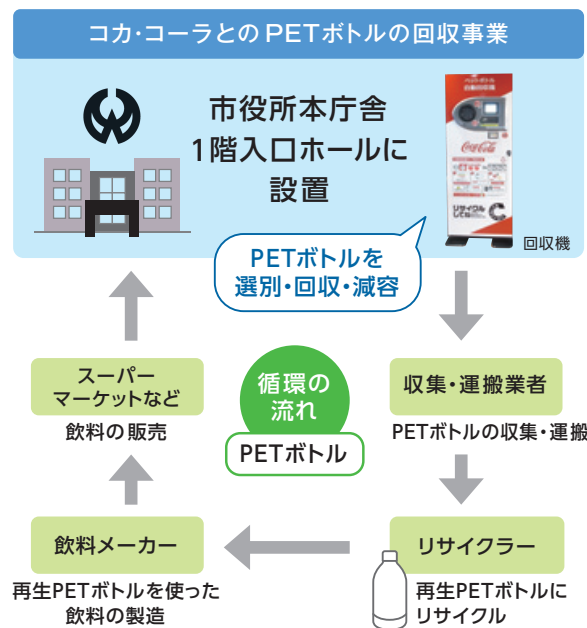
2020年10月、東大和市ではコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社(以下、コカ・コーラ)と地域活性化および市民サービスの向上を図ることを目的とした「地域活性化包括連携協定」を締結しました。そのひとつとして使用済みPETボトル回収や飲料自動販売機を活用した災害対策に取り組みます。

事業者との連携に当たり、特に留意していることはとの質問に、中山課長はみんなで少しずつ負担を分け合うことと答えます。

「企業はリサイクル事業を行なうことで、環境対



PETボトル自動回収機  
(コカ・コーラ)



※一般家庭から排出される使用済みPETボトルは、東大和市が回収し、容リ協を通じリサイクルされています。



策への取り組みとともに自社の利益につながる事が理想です。今後、回収・再生事業にかかる負担については、多くの関係者が連携し、分担していくことが求められるのではないのでしょうか。こうした取り組みがプラスチック資源循環の促進に資すると考えています」(中山課長)

東大和市における使用済みPETボトルの行政回収量は、2018年度の164tから2019年度は144tに減少。2020年度は、コロナ禍の影響もあって2019年度に比べ若干増加したものの、着実に成果を上げつつあります。

## 行政と事業者による リサイクル事業の聖地へ

現在、セブン-イレブン、コカ・コーラといったPETボトルのリサイクル以外にも、東大和市では多様なプロジェクトが進行しています。ユニリーバ・ジャパン・サービス株式会社(以下、ユニリーバ)との連携で2021年6月から始めた「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」は、シャンプーのボトルや詰め替えパウチなど、使用済みプラスチック製品を対象とした回収事業です。同社は本プロジェクトを通して分別回収の仕組みやボトルtoボトルの技術の検証を行ないます。

本プロジェクトも、中山課長がPETボトルリサイクル推進協議会の広報誌「RING」に紹介されていたユニリーバの取り組みに関心があったため、自ら質

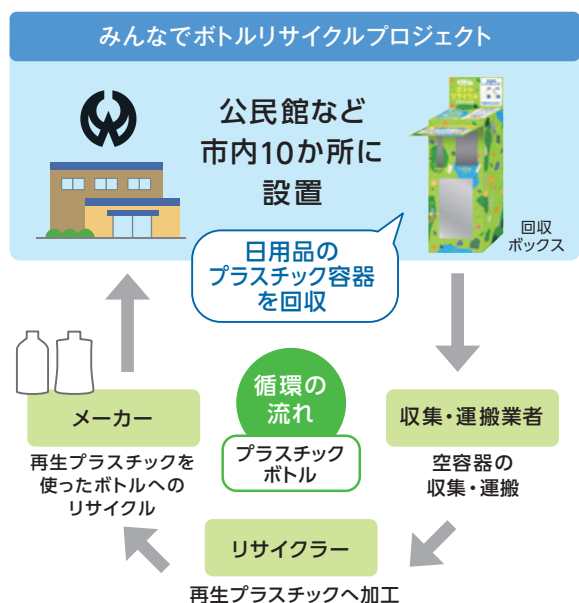
問を投げかけたことから実現した回収事業です。当初はユニリーバのみに連携を提案していましたが、回収事業におけるコスト負担を考慮し、今後を見据え複数企業で実施することを提案しました。

「製造や販売はメーカー同士で切磋琢磨し、リサイクルに関してはみんなで協力し合う。これからのリサイクル活動は、経済活動における動脈と静脈を切り分けて考えることが重要になるのではないのでしょうか」(中山課長)

その他にも、HOYA株式会社アイケアカンパニーと協定を締結し、使い捨てコンタクトレンズの空ケースリサイクル事業も展開中。リサイクル事業は地域の人をいかに巻き込むかが重要で、それには市町村の協力を得るのが一番早いということなのでしょう。東大和市には、多くの企業からの連携に関する問い合わせが今でも多数寄せられています。

「多くの企業には、さまざまなリサイクル事業を展開するにあたり、自治体と連携することがメリットになることをご理解いただき、東大和市を回収事業の実証事業の場として、お声がけいただければ、前向きに検討したいと思います」(中山課長)

行政と事業者の協働によるリサイクル事業の聖地となった東大和市。その挑戦が、これからのリサイクル事業に与える影響は決して少なくないはずです。



※一般家庭から排出される使用済みプラスチックボトルは、東大和市が回収し、容リ協を通じリサイクルされています。

# 容リ協の 発煙・発火トラブル防止に 向けた啓発活動について

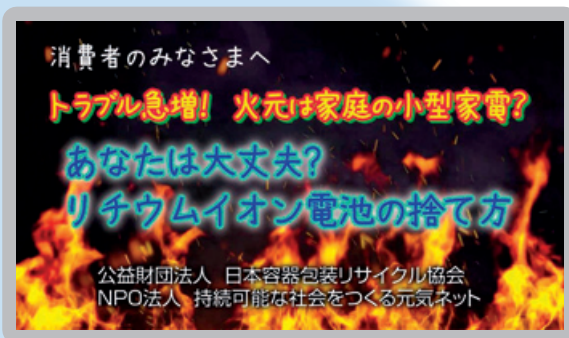
リチウムイオン電池

ごみ処理施設を  
火災のリスクから守れ!

全国のリサイクル工場でリチウムイオン電池がプラスチック製容器包装のベールに混入することによる発煙・発火トラブルが多発しています。容リ協では、そうした事態への対策の一環として、消費者をはじめ関係者などに向けた混入防止の啓発活動を展開しています。

啓発用  
動画

「トラブル急増!火元は家庭の小型家電? ~あなたは大丈夫?リチウムイオン電池の捨て方~」をリニューアルへ



容リ協ホームページトップ ▶ 消費者の皆様へ ▶  
(お願い)リチウムイオン電池を含む電子機器を混ぜないで!



短縮版(約3分30秒)



全編版(約11分)



急増する発煙・発火トラブルへの  
警鐘として動画を制作

近年、問題となっているプラスチックのリサイクル工場での発煙・発火トラブル。その原因となっているのが、加熱式たばこ、モバイルバッテリーなどの充電式電子機器に使われているリチウムイオン電池です。これらがプラスチック製容器包装のベールに混入し、工場内の「ベール解砕機」や「破袋機」の刃によって押し潰されてショート・発火。周囲にあるプラスチックに着火することで、発煙や発火トラブルを引き起こしています。

容リ協と契約している全国のプラスチック製容器包装の再生処理事業者で令和3年度に発生した発煙・発火トラブルは、9月末までの半年間で137件。前年、前々年からは減少傾向にあるものの、予断を許さない状況が続いています。一方、市町村の中間処理施設などでの事故は不燃物の処理ラインも含め、その数はむしろ急増しています。

動画「トラブル急増!火元は家庭の小型家電?~あなたは大丈夫?リチウムイオン電池の捨て方~」は、高止まり状況にある発煙・発火トラブルを防止する目的で2020年に制作されました。「くらしフェスタ東京2020」を皮切りに新型コロナウイルス感染症防止によりWEB開催となった各種イベントで放映するほか、容リ協ホームページへ掲載し、リチウムイオン電池をプラスチック製容器包装と一緒に排出しないよう消費者に呼びかける啓発ツールとして活用されています。



「くらしフェスタ東京2020」で動画を放映

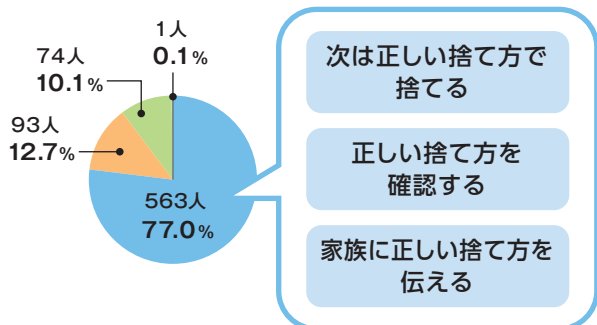
▶ 若い世代の意見を取り入れ  
より見やすく、わかりやすく  
動画を改訂

▶ **まだまだ知られていない  
発煙・発火トラブルの現状**

啓発用の動画制作には、「NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット(以下、元気ネット)」が協力。さらに、元気ネットでは動画に対するアンケート調査も実施しています。自らのネットワークを通じて全国各地の約300人の方にメールでお願いしたところ、そこから拡散して実際には731人に回答をいただきました。その調査結果からわかったのは、リチウムイオン電池がこれほどの事故を引き起こしている現状を知らなかった方が思いのほか多かったということ。アンケートの回答者は、元気ネットが25年にわたるこれまでの活動で知り合った方々を中心に、環境に関して全く関心がないというよりも、むしろ関心がある人が多数派だったことから、今後の啓発活動の重要性がより一層浮き彫りになったといえるでしょう。

Q. 動画視聴後の行動に変化はあると思うか

■ あると思う ■ ないと思う ■ わからない ■ 無回答



- 次は正しい捨て方で捨てる
- 正しい捨て方を確認する
- 家族に正しい捨て方を伝える

元気ネットが実施した動画に対するアンケート調査では、731人の回答者のうち、20代～30代は各100人未満でした。リチウムイオン電池が使用されている電子機器を一番手軽に使っているそうした世代の人たちの意見なくして、今後の啓発活動の成功はあり得ません。

そこで、元気ネットと容り協は2021年夏に若い世代の方々との意見交換会を新たに企画。オンライン会議に参加した男女7人の大学生たちからは、動画を流すメディアとしてSNSをより積極的に活用することが提案されました。さらに、現在の動画時間が長すぎるため、気軽に見てもらいやすいように3分前後にまで短縮すること、どのような電子機器にリチウムイオン電池が使われている



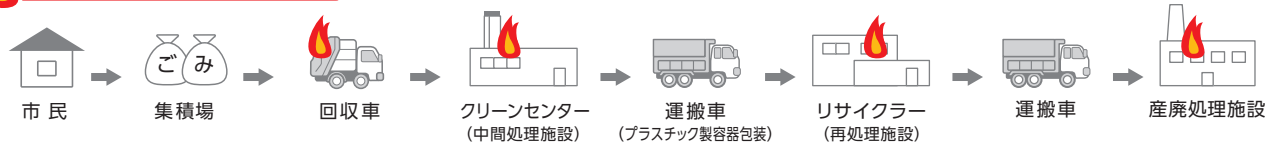
若い世代の方々との意見交換会

のか、より明確に情報発信する必要があるといった動画の構成に関する言及もありました。

これらの意見を参考に、容り協では動画をリニューアルし短縮版(約3分30秒)を制作。全編版(約11分)とともに、容り協ホームページやYouTube「容り協動画チャンネル」でご覧いただけます。また、東京都と消費者団体が協働しWeb上で実施するイベント『くらしフェスタ東京2021』(2021年10月22日～2022年1月31日)でも放映しています。今後は若い世代に向けたSNSによる情報発信にも活用していく予定です。

最近では、本動画を活用したいという問い合わせがメディアや自治体など各方面から増えてきています。そうした声がさらに広がり、リチウムイオン電池の混入防止に効果を発揮することが期待されます。

**発煙・発火トラブルの発生場所**



## 対談

それぞれの主体に対する  
効果的な啓発活動を展開

NPO法人  
持続可能な社会をつくる元気ネット  
理事長 鬼沢良子さん



日本容器包装リサイクル協会  
プラスチック容器事業部  
雨谷忍

NPO法人と連携し、  
2019年より啓発活動をスタート

**雨谷** リチウムイオン電池を原因とするプラスチックのリサイクル工場での発煙・発火トラブルについて、「持続可能な社会をつくる元気ネット(以下、元気ネット)」さんと問題解決のためのタッグを組んだのは、東京都が主催する『くらしフェスタ東京2019』が最初でしょうか。

**鬼沢** そうですね。2019年の『くらしフェスタ東京』では、啓発のためのセミナーを実施し、寄り協作成のポスターやチラシを使ってみなさんに協力をお願いしました。2019年当時、発煙・発火トラブルについて初めて知る人も多くて、観客の反応はとても良かったのを覚えています。その後、こうした取り組みを全国でもっと展開していきましょと計画していた矢先に新型コロナウイルスの感染拡大があって、2020年の『くらしフェスタ東京』はオンラインでの開催が決定。こんな重大な課題があるのに何もしないわけにはいかないということで寄り協さんとともに啓発動画を制作し、特設サイト「WEB



「くらしフェスタ東京2019」



① 啓発ポスター(A2サイズ)  
② 啓発チラシ(A4サイズ)



交流フェスタ2020」で放映しました。(動画の制作については、p10~11をご覧ください)

発煙・発火トラブルに対する認知度は  
まだそれほど高くない

**鬼沢** 2019年の『くらしフェスタ東京』から2年が経ち、消費者のリチウムイオン電池による発煙・発火トラブルへの認知度に変化は見られるでしょうか。

**雨谷** この2年、リチウムイオン電池が捨てられたその先で火災事故が発生し、中にはリサイクル工場が全焼しているなどの事実を各種イベントやWebなどで伝えてきました。使えなくなった小型家電とか加熱式たばこ、スマホなど、捨てられずに家の中にあるそれらをごみとして排出した時に、どう危ないかということの周知がやっと始まったところなんです。

**鬼沢** 発煙・発火トラブルの発生件数はあまり減ってはいませんか。

**雨谷** ええ、プラスチック製容器包装のリサイクル工場でのトラブルは、高止まり傾向にあります。それ以外にも市町村のクリーンセンターやごみ回収車そのものが燃えるといった事故が加速度的に増えており、こちらも大変深刻です。リチウムイオン電池に関わる発煙・発火トラブルは、もはや社会問題と言えるのではないのでしょうか。

**鬼沢** 同時に、最近ではリチウムイオン電池が使われている製品が増えているの気がかりですね。例えば、この2年くらいで真夏にハンディファンを持っている人がものすごく目立つようになりましたが、あれにもリチウムイオン電池が使われていると認識している人はどのくらいいるのでしょうか。

**雨谷** ほかにコードレスイヤホンを使う人も増えてますね。手軽に持ち歩いて使う製品の電源は、リチウムイオン電池にどんどん切り替わっていく傾向です。結果としてリチウムイオン電池を使用する製品の増加がこの事故が増え続けている一因だと思っています。多くの人は、使えなくなった時点で充電していたことも忘れ、ただのプラスチック製の不要物と考えがちです。比較的安価なものも多いので、1、2年のうちに充電機能が劣化し、使えなくなることは大いにあり得ますので、そうした製品を捨てる際の注意喚起はこれからますます大切になっていきますね。

### プラスチック製品の一括収集で 混入リスクがさらに高まる

**鬼沢** これまでリチウムイオン電池の回収方法は各市町村によってばらばらでしたね。

**雨谷** 数年前、ある消費者が加熱式たばこの排出方法を自治体に聞いたら「ごめんなさい、わからないのでメーカーに聞いてください」、メーカーさんに問い合わせたら「自治体に聞いてください」と言われたとか。そうしたことが起こったのも、加熱式たばこが新たに開発されたもので製品としての位置づけが曖昧だったためです。しかし、未だこの問題は解決していません。

**鬼沢** 私としては、危険物として回収する方が消費者にとってわかりやすいのではないかなと思うのですが。

**雨谷** 容リ協としても、リチウムイオン電池を使用している製品については、「プラスチック資源物の回収からはずしてください」というお願いを市町村の方々にしています。市町村の中には、リチウムイオン電池単体や同電池使用製品を「有害ごみ」や「危険品」、「特定〇品目」としてはっきり区別して回収しているところがあります。その中に加熱式たばこやモバイルバッテリーといった製品も入れてもらうことができれば、消費者にとってさらにわかりやすく、発煙・発火トラブル防止に繋がると考えています。

**鬼沢** さらに、2023年には使用済みプラスチック製品を市町村で容リルートを利用して一括収集することも決定しています。これにより、容リ協が扱う使用済みプラスチックの範囲が広がり、ペールにリチウムイオン電池が混入するリスクはさらに高くなるのではありませんか。

**雨谷** その通りです。そのため、使い終わったリチウムイオン電池はどう捨てればいいのか、その方法を消費者に知ってもらうことがとても重要な時期にきています。

### 今後の課題は 製造者に向けた啓発活動

**雨谷** 消費者に向けての啓発活動は、元気ネットさん独自でも取り組まれていますね。

**鬼沢** 元気ネットでは、消費者に向けたさまざまな活動、たとえば「3R市民リーダースキルアップ研修」、3R活動推進フォーラムとNPO元気ネット共催の「市民・NPOのための環境塾」などの場において、リチウムイオン電池に関するテーマを取り上げています。

**雨谷** 元気ネットさんのご協力を得て、消費者に向けての啓発活動はこれまでも力を入れて取り組んでいます。そして自治体に対しては、リチウムイオン電池の回収に関する優れた事例を紹介。いくつかの市町村では、処理工程に特殊な磁石をつけ異物除去の能力を高めたところも現れています。一方、本件の上流である製造者や販売者に対しては、さらに具体的なアプローチが必要ですね。

**鬼沢** 現在、リチウムイオン電池の年間販売数は、国内で約9億個にのぼると言われています。今後は、リチウムイオン電池の製造元や、それを使用しているメーカーに対する拡大生産者責任も重要なテーマになりそうですね。

**雨谷** 容リ協では、3年ほど前からリチウムイオン電池の関係団体を訪問し、事故の現況情報や自主回収への働きかけなどをしてきました。当時は、お話をきちんと聞いていただけても即行動に移してくれるところはなかなかありませんでした。近頃はリチウムイオン電池などによる問題を把握されている方が多くなり、少しずつですが主体的に混入防止策に取り組んでくれる事業者も増えています。これからは個別のアプローチを続けることで、そうした流れを加速させていければと考えています。

## 「プラスチック資源循環促進法」 令和3年6月に公布される

令和3年6月11日、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)」が公布されました。

同法は、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するために国が元年5月に策定した「プラスチック資源循環戦略」を受け、多様な物品に使用されているプラスチックに関し、包括的な資源循環体制の強化を図るものです。

### 「プラスチック資源循環促進法」の概要

製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環などの取り組み(3R+Renewable)を促進するための措置を講じる

#### 基本方針

- ① プラスチック廃棄物の排出の抑制、再資源化に資する環境配慮設計
- ② ワンウェイプラスチックの使用の合理化
- ③ プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化

設計・製造

#### 環境配慮設計指針

製造事業者等が努めるべき環境配慮設計に関する指針を策定し、指針に適合した製品であることを認定する仕組みを設ける

プラスチック使用製品の設計を環境配慮型に転換



販売・提供

#### 使用の合理化

ワンウェイプラスチックの提供事業者(小売・サービス事業者など)が取り組むべき判断基準を策定する

使い捨てプラスチック使用製品をリデュース



排出・回収・リサイクル

#### 市町村の分別収集・再商品化

- プラスチック資源の分別収集を促進するため、容リ法ルートを活用した再商品化を可能にする
- 市区町村と再商品化事業者が連携して行う再商品化計画を作成する

排出されるプラスチックを  
あまねく回収・リサイクル



#### 製造・販売事業者等による自主回収

- 製造・販売事業者等が製品等を自主回収・再資源化する計画を作成する

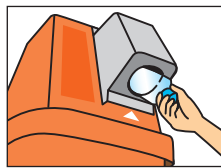
#### 排出事業者の排出抑制・再資源化

- 排出事業者が排出抑制や再資源化等の取り組むべき判断基準を策定する
- 排出事業者等が再資源化計画を作成する

## 新機能リサイクルボックス 業界統一への取り組み

一般社団法人 全国清涼飲料連合会は、PETボトルのリサイクル促進に向けて、異業種連携による新たな取り組みを始めました。

これまで自動販売機の横に設置されているPETボトルや空き缶のリサイクルボックスには、たばこの吸い殻や弁当の空き箱など清涼飲料空容器以外の異物がおよそ3割も占めていました。プラスチック資源循環を促進するためには、きれいな状態の使用済みPETボトルの回収が重要になってきます。そこで、リサイクルボックスメーカーのアートファクトリー株式会社と協業し、新機能のリサイクルボックスの製作に取り組みました。新しいリサイクルボックスは、PETボトルや空き缶の投入口的位置を変え、ほかのごみを捨てられないよう下から入れる形にしました。現場の差配はオペレーター業界の一般社団法人 日本自動販売協会と協働します。



さらに清涼飲料業界の枠を超え、農林水産省からの支援、日本たばこ産業株式会社による啓発協力を得たほか、ラベルのトップメーカーの株式会社フジシールインターナショナル、キャップのトップメーカーの日本クロージャー株式会社も参画し、PETボトル単体だけでなく、キャップ、ラベルの分別回収を進めることにより、カーボンニュートラルの実現を図ります。

2021年8月から順次、静岡県浜松市、愛知県岡崎市、三重県津市に設置し、異物混入・散乱状況の検証を開始しました。この実証実験の結果を踏まえ、2022年秋に新機能リサイクルボックスを業界統一仕様とすることを目指しています。



## 容リ協日誌 (令和3年9月～11月)

容リ協行事	
令和3年 9月下旬	産業構造審議会(量・比率の内示)
10月15日～22日	プラスチック容器・紙容器・PETボトル・ガラスびん事業委員会・総務企画委員会
10月25日	市町村申込開始(～11月19日)
10月26日	臨時理事会
11月5日	臨時評議員会
11月8日～12日	市町村担当者説明会
11月下旬	再生処理事業者登録審査結果通知

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主要会議はWEB会議を併用して開催。特定事業者向け制度説明会・個別相談会は中止。

ホームページ情報開示	
令和3年 9月1日	「年次レポート2021」掲載
9月3日	令和2年度分合理化拠出金(市町村への資金拠出)に関して
9月6日	令和3年度PETボトル下期落札結果一覧・落札数量掲載
10月7日	特定事業者向け説明会・個別相談会開催見送りのご案内
10月25日	令和4年度市町村申込資料掲載
11月中下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度登録を完了した再生処理事業者のリスト掲載</li> <li>令和4年度再商品化に関する入札について</li> </ul>

## 編集後記

世の中SDGsとかサステナブルとか環境に関する横文字を見ない日が無いくらいですね。当協会でも全役職員に対し、「CSR・サステナビリティの基本」とか「SDGsの本質」などの勉強会が開催されました。

CSRに関しては前職で20年弱前に社内研修を受けました。「企業の社会的責任」の訳は今も変わりませんが、現在はその範囲がより広がっていることを知りました。また日本と欧米とではCSRに対する受け止め方が大きく異なっていたという事を改めて知らされました。有名なアニメのセリフが頭をよぎりました。「広報担当者として不甲斐なし。穴があったら入りたい。よもやよもやだ!」

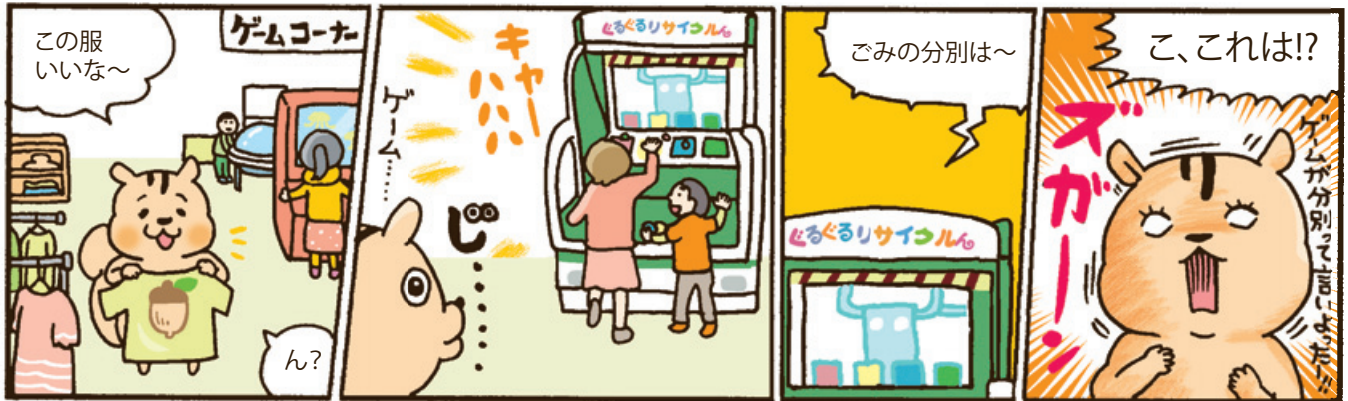
# 地球を守り隊!



森のくらしを守るため、  
地球の環境をパトロール!  
リスのエコシロウがエコチェック!

## 第14回

### アーケードゲーム“ぐるぐるリサイクルん”で、 楽しみながら、環境問題を知るきっかけに



小学生までのキッズを  
対象にしたアーケードゲーム。  
色とりどりのボールをかごに投げ入れ、  
ごみの分別について学びます。  
株式会社イオンファンタジーが開発し、  
ショッピングモール内の  
アミューズメント施設230店舗に  
展開中!

お笑いコンビ・マシンガンス  
の滝沢秀一さんが監修。  
特に滝沢さんも制作に  
参加した、ゲームの最後に  
登場するごみに関する  
豆知識に注目!

プラスチック容器は  
水で洗って……  
ビヤの  
箱は油が  
ついてる  
から……

お笑い芸人/ごみ清掃員

滝沢秀一さん

光るごみ箱に  
ボールを入れて

こんなゲームが  
あったんだ!

リサイクルの  
ゲーム?

ぼくも  
やる〜!

ね〜ママ〜

「ぶんべつ」って  
なあに?

親子で  
話すチャンス

まずは、難しいことを考えず、  
とにかく楽しんでください!  
環境を考えるきっかけに  
なればうれしいですね

株式会社イオンファンタジー  
商品本部グローバル商品マネジャー

萬関未来さん

それはね……